

新任経理担当者、経理の基本業務を知りたい皆さま向け

—— 演習を交え理解度を深める！ ——



1日でマスターする！資金繰りの基礎実務

開催日：2020年7月16日(木) 10:00～17:00

会場：りそな総合研究所 東京本社セミナールーム

講師：税理士・米国税理士 CFP® **高下 淳子** 氏

略歴：

税務会計顧問業、経営コンサルティング業の他、金融機関、シンクタンク等の講演・セミナー講師、企業内研修の企画実施などで活躍中。講演テーマは広く、新入社員、後継経営者、経営幹部、営業担当者などを対象とした、明快かつ、わかりやすい実践的講義には定評がある。
 <著書>「今までで一番やさしい法人税申告書のしくみとポイントがわかる本」「法人税と経理処理のしくみがわかる本」(日本実業出版社)「とにかくみんなで考えよう！日本の借金 わが家の税金 わたしの年金」「やさしい法人税申告入門」(中央経済社)「決算書を読みこなして経営分析ができる本」(日本実業出版社)など多数。

◆特色

本セミナーでは、資金繰り改善のために経理部に求められる役割と実務について、設例を交えながらわかりやすく解説いたします。

- ①なぜ「資金繰り」が大切なのか
 - ②「勘定合って銭足らず」が起こる原因とその予防策
 - ③「資金繰り表」の作り方と「資金計画」の立て方の3つのポイントをマスターしていただきます。
- 「経理のしごと」を初めて担当される方のための実践講座として、ぜひご活用ください。

※必ず電卓をお持ちください

◆カリキュラム

※録音・録画はご遠慮下さい。

1. そもそも、「資金繰り」とは

- (1)なぜ、「資金繰り」が大切なのか
- (2)自社の「資金繰り状況」を把握しよう
- (3)「資金」の範囲を明確にする
- (4)資金繰りで要求される2つの能力
- (5)売上高と売上入金の違い
- (6)売上原価と商品仕入支出の違い

2. 「勘定合って、銭足らず」の原因とは

- (1)3→5→3の箱の動きで資金繰りを理解する
- (2)「損益計算」と「資金繰り」の違い
- (3)お金を増やす取引と減らす取引
- (4)最も理想的な「5つの箱」の動き方

3. 商売で必要となる「運転資金」を理解しよう

- (1)資金繰りの悩みの種 ～ 運転資金 ～
- (2)業績アップで運転資金も増加する
「勘定あって銭足らず」の原因とは 【演習】
- (3)運転資金を縮小させる3つの方策
値引き販売と手形販売の比較 【演習】

4. 会社を伸ばす「資金計画」の立て方

- (1)設備投資資金の調達と返済計画
- (2)運転資金と固定資金の計画

5. 具体的な「資金繰り表」の作成方法

- (1)予定資金繰りと実績資金繰り
- (2)現業部門からの情報収集も大切
月次資金繰り表の作成 【演習】
- (3)カレンダー式資金繰り表の作成法
- (4)6か月先の売上入金の予測方法
- (5)6か月先の仕入支出の予想方法
6か月先程度までの資金繰り表 【演習】
- (6)資金繰りで誤りやすい項目と忘れやすい項目
- (7)資金繰り表を経営改善に役立てるためには
- (8)資金調達の方法を見直してみる

6. 経理担当者が資金繰りを改善しよう

- (1)知っておきたい3つの経営指標
- (2)財務の健全性を表す経営指標
- (3)運転資金の管理を徹底する

参加申込書 (7/16 (木) 1日でマスターする！資金繰りの基礎実務)

(*個人情報の取扱いに関して「私は貴社の個人情報に関する利用目的を確認、同意の上、申込みをします」)

受講料：会員…24,200円 一般…31,900円(参加者1名様、消費税等・テキスト代を含む)

※本セミナーは連続講座のため、個別受講の場合も無料受講券はご利用いただけません。

B

【FAX …… 03-3699-6629-6729 りそな総合研究所 行】

貴社名			区分	MS・会員・一般	会員番号	
受講票送付先	〒		連絡担当者	部署・役職		
				ふりがな		
業種(具体的に記入してください)			氏名			
			E-Mail			
TEL	()	FAX	()	取引店	支店	
参加者 ()内に ふりがなを ご記入くだ さい。	氏名	()	部署	役職		
	氏名	()	部署	役職		
当社使用欄	入力日 /	発送日 /	受講料	円	作成日 /	

会員の方：入会時にご選択いただきました「口座振替」あるいは「お振込み」のどちらかのお支払い方法になります。
 一般の方：受講票とともにご請求書をお送りいたします(原則)。セミナー開催前日までにお振込みください。
 *キャンセルはセミナー開催前営業日の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセルは、受講料全額をいただきます。なお、参加申込みが少数の場合や講師の病気等により、開催を中止させていただく場合があります。

【お問い合わせ先】
 03-5653-3951
 研修セミナー部

